標準塗装仕様

【サンフロンUV】

1. コンクリート系外装材の塗り替え（可とう形改修塗材E使用）

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などは、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	032-2106 ビニロック エラスティックフィラーⅢ （可とう形改修塗材E）	水 ローラー　：　5～10 エアレス　：　5～10 砂骨ローラー　：　1～5	1	0.3～0.5 0.8～1.5	8時間以上
上塗り	081-9020 サンフロンUV 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝6.5：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー　：　5～15 エアレス　：10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内

※上塗りを弾性で仕上げる場合、硬化剤は081-2320弾性硬化剤を使用してください。

注）●上塗りのサンフロンUVをつや調整品（7分つや～3分つや）で仕上げる場合、1回目の上塗りはツヤ有りを塗装してください。
●下塗りの塗装用具は上記の他にリシンガン、タイルガンも使用できます。
●ビニロックエラスティックフィラーⅢを吹き付けする場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りを行い、条件を設定してから塗装してください。

2. 窯業系サイディングボードなどの塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などは、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	033ライン ハイパーシーラーエポ 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝ 5：1	（塗料用シンナー） ハケ、ローラー、エアレス 0（希釈不要）	1	0.08～0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	081-9020 サンフロンUV 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝6.5：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー　：　5～15 エアレス　：10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内

注）●吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
●下塗りは他にユメロックシーラー（ホワイト・透明）、ハイパーシーラーエポ ホワイト、エポシーラーマルチ、ロックカチオンシーラーマルチⅢ（透明）、ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト、ロックSBフィラーがあります。
●上塗りのサンフロンUVをつや調整品（7分つや～3分つや）で仕上げる場合、1回目の上塗りはツヤ有りを塗装してください。

3. 鉄部・非鉄金属部の塗り替え（平滑仕上げ）

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で削りかすとともに完全に除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあい等はサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	061ライン 2液型サビカット 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝ 9：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー　：　0～5 エアレス　：　5～10	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	081-9020 サンフロンUV 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝6.5：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー　：　5～15 エアレス　：10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内

注）●金属部の下塗りには1液型変性エポキシ系の「サビカットシリーズ」や、溶剤型2液変性エポキシ系「ロックエポキシハイプライマー」または、水性エポキシ系「水性サビカット」を使用することもできます。特に高防食性を必要とする場合や、亜鉛の目付量の多い鋼板には「2液型サビカット」または「ロックエポキシハイプライマー」を推奨します。
●上塗りのサンフロンUVをつや調整品（7分つや～3分つや）で仕上げる場合、1回目の上塗りはツヤ有りを塗装してください。

4. コンクリート、モルタルなどの新設（平滑仕上げ）

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。（含水率10%以下、pH9.5以下）				
下塗り	033ライン ユメロックシーラー 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝ 5：1	（塗料用シンナー） ハケ、ローラー、エアレス 0（希釈不要）	1	0.08～0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	081-9020 サンフロンUV 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝6.5：1	塗料用シンナー ハケ、ローラー　：　5～15 エアレス　：10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内

注）●吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
●上塗りのサンフロンUVをつや調整品（7分つや～3分つや）で仕上げる場合、1回目の上塗りはツヤ有りを塗装してください。

【サンフロンアクア】

1. コンクリート系外装材の塗り替え（可とう形改修塗材E使用）

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などは、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	032-2106 ビニロックエラスティック フィラーⅢ	水 ローラー　：　5～10 エアレス　：　5～10 砂骨ローラー　：　1～5	1	0.3～0.5 0.8～1.5	4時間以上
中塗り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水 ハケ、ローラー　：　5～10 エアレス　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上塗り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水 ハケ、ローラー　：　2～10 エアレス　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●下塗りの塗装用具は上記の他にリシンガン、タイルガンも使用できます。
●ビニロックエラスティックフィラーⅢを吹き付けする場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りを行い、条件を設定してから塗装してください。

2. 窯業系サイディングボードなどの塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などは、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー	水 ハケ　：　1～ 5 ローラー　：　1～ 5	1	0.2～0.4	3時間以上
中塗り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水 ハケ、ローラー　：　5～10 エアレス　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上塗り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水 ハケ、ローラー　：　2～10 エアレス　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●下塗りは他に033-1179ロックカチオンシーラーマルチⅢ、033-1160ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトなどがあります。
●著しく劣化が進行している場合は、下塗り塗料としてユメロックシーラー（2液型）を使用してください。
●光触媒処理や無機系コーティング材など付着しにくい面には、ハイパーシーラーエポを下塗りに使用してください。

3. 鉄部・非鉄金属部の塗り替え（平滑仕上げ）

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で削りかすとともに完全に除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあい等はサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	061ライン 水性サビカット 配合比（重量） 主剤：硬化剤＝7：1	水 ハケ、ローラー　：　0～5 エアレス　：　5～10	1	0.12～0.15	8時間以上 7日以内
中塗り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水 ハケ、ローラー　：　5～10 エアレス　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上塗り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水 ハケ、ローラー　：　2～10 エアレス　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●水性サビカットには、061-5530赤さび色、061-5531グレー色があります。
●下塗り塗装において、夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシで表面を研磨した後、脱脂等清浄な面とした上で上塗り塗装してください。

4. コンクリート、モルタルなどの新設（平滑仕上げ）

工 程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合（%）	塗装回数	標準塗付量（Kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。（含水率10%以下、pH9.5以下）				
下塗り	033-1179 ロックカチオンシーラー マルチⅢ	水 ハケ、ローラー　：　0 エアレス　：　0 （通常不要）	1	0.07～0.13	3時間以上
中塗り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水 ハケ、ローラー　：　5～10 エアレス　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上塗り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水 ハケ、ローラー　：　2～10 エアレス　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●ロックカチオンシーラーマルチⅢはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。
●素地の吸い込みが著しい場合、強アルカリ性が予想される場合は弱溶剤型シーラー（ユメロックシーラー、エポシーラーマルチ、ハイパーシーラーエポ）を使用してください。
●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

◇ 安全衛生上及び取扱上の注意

【サンフロンUV】

[製品の危険・有害性]
- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜等に対し刺激性がある。

[救急処置]
- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気･ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

[取扱注意事項]
- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- 取扱中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋（耐溶剤性）、長袖作業着等を着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

[施工後の安全性について]
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート（SDS）をよく読んでから取り扱ってください。

【サンフロンアクア】

[製品の危険・有害性]
危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

[救急処置]
- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

[取扱注意事項]
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋、保護マスクを着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

[施工後の安全性について]
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート（SDS）をよく読んでから取り扱ってください。

ロックペイント株式会社

東京営業部／〒136-0076／東京都江東区南砂2丁目37番2号　☎(03)3640-6000　FAX (03)3640-9000
大阪営業部／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号　☎(06)6473-1650　FAX (06)6473-1000
札幌営業所／〒003-0011／札幌市白石区中央一条4丁目3番48号　☎(011)812-2761　FAX (011)812-9304
仙台営業所／〒983-0044／仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201　☎(022)349-8677　FAX (022)283-3255
西関東営業所／〒252-0131／神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号　☎(042)700-3111　FAX (042)700-3112
名古屋営業所／〒454-0059／名古屋市中川区福川町1丁目1番地　☎(052)351-6500　FAX (052)361-7433
岡山営業所／〒701-1134／岡山市北区三和1000番34　☎(086)294-1201　FAX (086)294-6966
福岡営業所／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号　☎(092)962-0661　FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ　https://www.rockpaint.co.jp

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：

2020.3.10000N.220N〔081-M03〕

サンフロンシリーズ

低汚染ラジカル制御フッ素樹脂塗料（弱溶剤型・水性）

ロックペイント株式会社

ROCK PAINT

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
居室内で無制限に使用できます

ワンランク上の性能を実現!!

サンフロン®シリーズ

弱溶剤2液型低汚染ラジカル制御
4フッ化フッ素樹脂塗料

サンフロン®UV

水性1液架橋型ラジカル制御フッ素樹脂塗料

サンフロン®アクア

ロックペイント株式会社

サンフロン®シリーズ

サンフロン®UV・サンフロン®アクア
低汚染ラジカル制御フッ素樹脂塗料（弱溶剤型・水性）

新築時の美しかった住まいや建築物は、紫外線（UV）、風雨、寒暖、工場からの煤煙等の劣化因子により、美観が徐々に低下してゆきます。
ロックペイントでは塗り替え改修において、さらなる耐候性、耐久性を追求し、強靭で強い結合エネルギー（C-F）を持つフッ素樹脂を主成分とした サンフロン®シリーズ を発売しました。サンフロン®シリーズはラジカルコントロール技術を取り入れたフッ素樹脂塗料で、ワンランク上の高機能を実現しました。

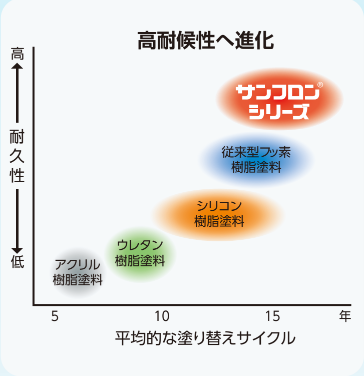
特　長

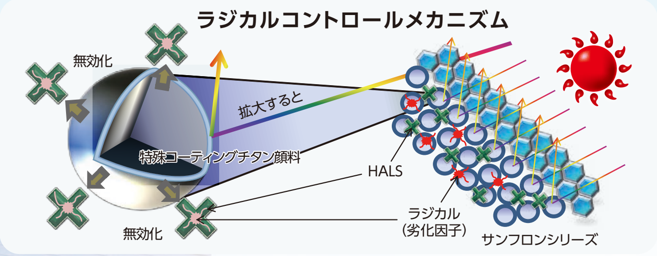
高耐候性

信頼性のあるフッ素樹脂と特殊コーティングチタン（ホワイト）顔料及びラジカル吸着安定剤（HALS）によるラジカルコントロール技術で、従来のフッ素樹脂塗料に比べ耐候性が飛躍的に向上しました。
このことは面倒な塗り替え改修のサイクルを延ばすことにつながり、ひいてはメンテナンスコストを低減することが可能です。

［特殊コーティング チタン顔料とHALS］

紫外線を遮断する特殊コーティングを施したチタン（ホワイト）顔料で、ラジカル（劣化因子）の発生を抑制し、また抑制しきれないラジカルもHALS（ラジカル吸着安定剤）によって無効化するため、塗膜の劣化の兆候を示すチョーキングの発生を抑えます。





環境配慮型

サンフロンUVは、弱溶剤系の溶剤で構成されているため臭気がマイルドで、作業環境にやさしい塗料です。
サンフロンアクアは、水性1液タイプのため溶剤臭や引火の心配がないため屋内外で安全に使用できます。
サンフロンシリーズは鉛・クロムなどの有害な重金属を原料に使用していないため、地球環境にやさしい塗料です。

防藻・防かび性

強力な防藻・防かび剤が配合されていますので、藻やかびの発生を抑制し、長期にわたり清潔な住環境を保ちます。

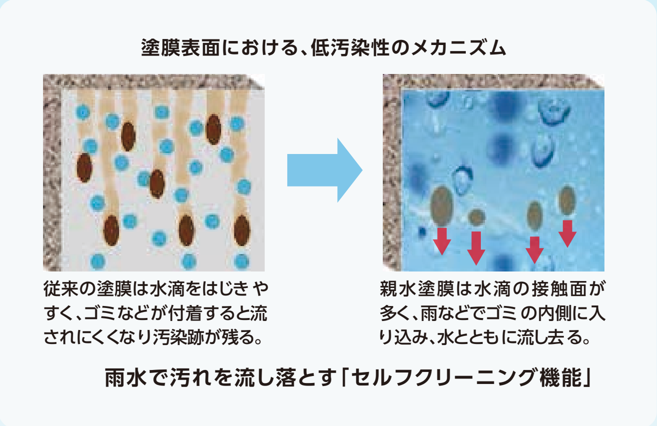
■ 用途

- ●コンクリート、モルタル、ALCパネル、スレート板、鉄部などの建築物内外部の新設及び塗り替え
- ●可とう形改修塗材の中塗り・上塗り、各種旧塗膜をはじめ、サイディングボード、硬質塩ビ（雨樋など）の塗り替え

※金属面の下塗りには、適性のあるさび止め、プライマーが必要です。

低汚染性

塗膜表面は高い架橋密度を有した緻密な塗膜の形成と親水性を呈した塗膜表面により、降雨によって雨水となじむセルフクリーニング作用を長期間持続し、付着した汚れを洗い流し低汚染性を発揮します。


塗膜表面における、低汚染性のメカニズム
従来の塗膜は水滴をはじきやすく、ゴミなどが付着すると流されにくくなり汚染跡が残る。
親水塗膜は水滴の接触面が多く、雨などでゴミの内側に入り込み、水とともに流し去る。
雨水で汚れを流し落とす「セルフクリーニング機能」

屋外暴露試験（雨筋汚染性・屋外タンク1.5年後）

サンフロン®シリーズ（サンフロン®UV）
他社フッ素塗料
汎用塗料

幅広い用途適性

各種外壁の改修が可能なうえ、下塗材との組み合わせにより、あらゆる用途に対しオールマイティにご使用いただけます。

つや調整が可能

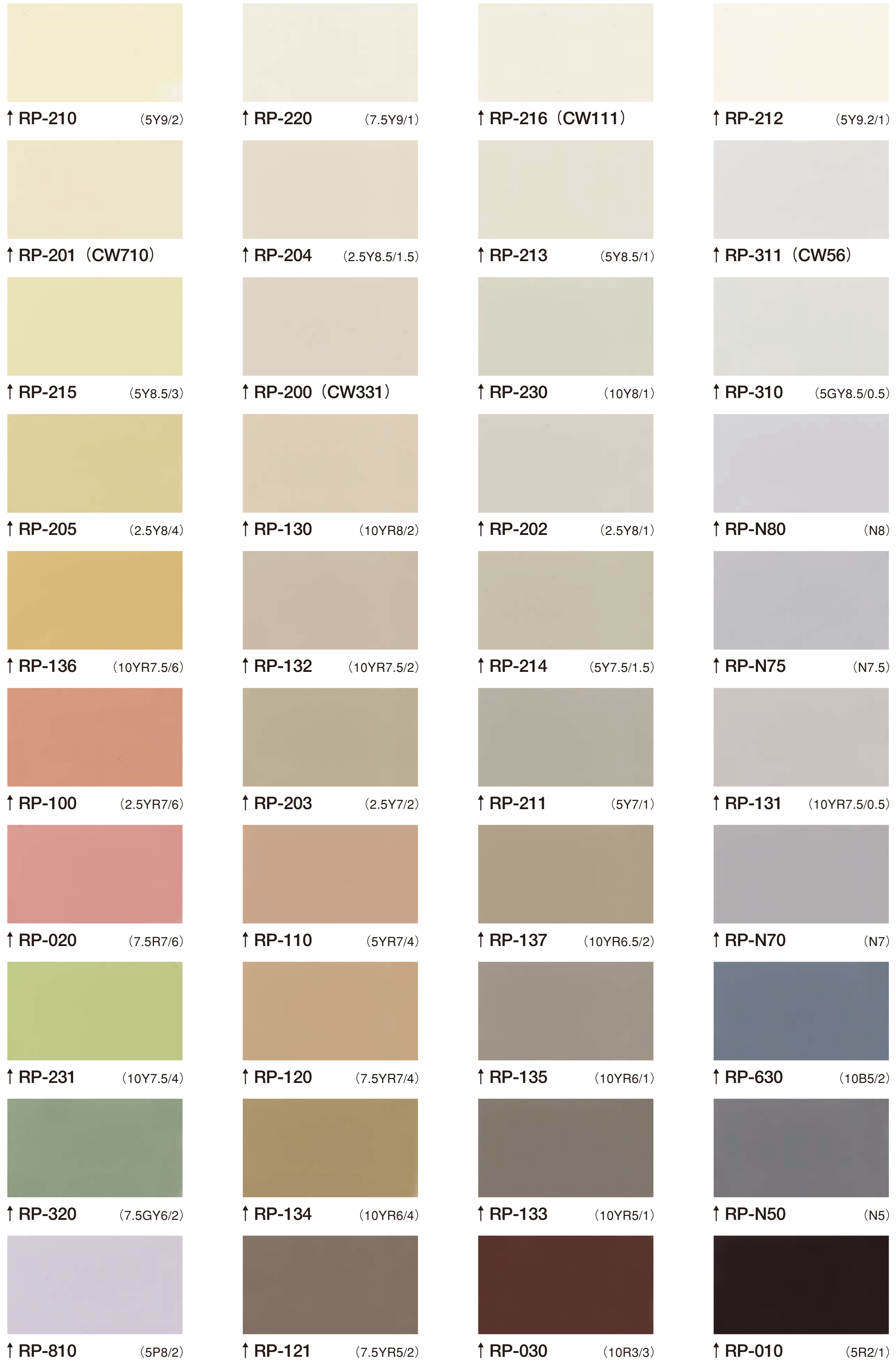
上塗材はつや有りから3分つや仕上げまでの調整が可能なため、様々な部位・用途に対してつやの選択が可能です。

■ 可使時間（サンフロンUV）

温　度	10℃	23℃	30℃
可使時間 （配合比 主剤:硬化剤＝ 6.5：1）	12時間	5時間	4時間

塗装仕上用提案色

建物壁面によく使われている色で、実用性の高い色を選定しています。



↑ RP-210　（5Y9/2）	↑ RP-220　（7.5Y9/1）	↑ RP-216（CW111）	↑ RP-212　（5Y9.2/1）
↑ RP-201（CW710）	↑ RP-204　（2.5Y8.5/1.5）	↑ RP-213　（5Y8.5/1）	↑ RP-311（CW56）
↑ RP-215　（5Y8.5/3）	↑ RP-200（CW331）	↑ RP-230　（10Y8/1）	↑ RP-310　（5GY8.5/0.5）
↑ RP-205　（2.5Y8/4）	↑ RP-130　（10YR8/2）	↑ RP-202　（2.5Y8/1）	↑ RP-N80　（N8）
↑ RP-136　（10YR7.5/6）	↑ RP-132　（10YR7.5/2）	↑ RP-214　（5Y7.5/1.5）	↑ RP-N75　（N7.5）
↑ RP-100　（2.5YR7/6）	↑ RP-203　（2.5Y7/2）	↑ RP-211　（5Y7/1）	↑ RP-131　（10YR7.5/0.5）
↑ RP-020　（7.5R7/6）	↑ RP-110　（5YR7/4）	↑ RP-137　（10YR6.5/2）	↑ RP-N70　（N7）
↑ RP-231　（10Y7.5/4）	↑ RP-120　（7.5YR7/4）	↑ RP-135　（10YR6/1）	↑ RP-630　（10B5/2）
↑ RP-320　（7.5GY6/2）	↑ RP-134　（10YR6/4）	↑ RP-133　（10YR5/1）	↑ RP-N50　（N5）
↑ RP-810　（5P8/2）	↑ RP-121　（7.5YR5/2）	↑ RP-030　（10R3/3）	↑ RP-010　（5R2/1）

（注）●この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・光沢に差異があります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。また、塗料価格は色によって異なります。
●広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・光沢が見本帳と異なって見える場合があります。
●色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限（2023年3月）を守ってください。

施工上の注意事項

- ●塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ●使用する前に塗料を缶の底から十分によくかき混ぜて、全体を均一にしてください。
- ●弱溶剤型塗料の希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとタレや色分かれの原因になります。
- ●新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ●気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- ●降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- ●たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ●屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- ●改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをお奨めします。
- ●クリヤー系シーラーを吸い込みの著しい部材や多孔質の旧塗膜に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- ●シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗りを行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- ●下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- ●シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- ●旧塗膜が弾性系の塗膜（弾性リシン、弾性スタッコ）やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- ●蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など）を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ●シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてくることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染、剥がれ、割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお勧めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- ●サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- ●サイディングボードは種類により塗料が付着しにくいものがありますので、塗装の際は事前に確認の上、施工してください。場合によってはハイパーシーラーエポを下塗りとした仕様もありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ●下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- ●押出成形板、GRC板などの新設塗装には、下塗りにユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポを塗装したのち塗装してください。種類によっては塗膜不良をおこす場合がありますので、試し塗りをすることをお奨めします。
- ●ビニロックエラスティックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- ●塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ●ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ●飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- ●エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- ●防水形複層塗材の上塗材としては使用できません。
- ●ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分は希釈をやや少なめに塗装してください。
- ●作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々水洗いをしてください。
- ●水性塗料の場合、ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。また用具や手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。乾くと落ちにくくなります。
- ●標準塗装仕様中の標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- ●塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁にしてください。
- ●サンフロンUVの2回塗りまたはタッチアップは1回塗り後14日以内（23℃）に行ってください。それ以上の場合、付着不良になることがあります。また、夏場（気温、被塗物温度を含む）の高温下では硬化速度が速まるため、上塗りの塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに行ってください。
- ●補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- ●各工程の塗装間隔や塗装回数、塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ●仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ●低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状、施工後塗膜が十分に乾燥する前、および乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分発揮されない場合があります。
- ●塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミは残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- ●笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ●塗色が濃彩色の場合、塗膜を強くこすると色落ちしたり、さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず、塗装回数が増えたりすることがありますので注意してください。
- ●サビについては完全に除去後、削りカス（サビ、鉄くず）を完全に除去してください。錆の発生の原因となります。
- ●2液型塗料は、主剤と専用硬化剤を所定の配合比で混合し可使時間内に使用してください。
- ●サンフロンUVの可使時間は5時間（23℃）、4時間（30℃）です。硬化剤配合後は可使時間内に使い切ってください。
- ●サンフロンUVの塗料液と硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早めにご使用ください。水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ●サンフロンUV硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを吸引すると鼻、のど、気管支などの障害を起こすおそれがありますので、換気を良くし、適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- ●水性サビカット、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポの可使時間は、7時間（23℃）、4時間（30℃）です。
- ●水性サビカット、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポ硬化剤は、アミンブリード性の少ない、主剤との相溶性に優れたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温（5℃以下）になる箇所での使用はできません。
- ●溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、下塗り塗料（サビ止め塗料）で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- ●ドアパッキンや緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- ●カウンターやテーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- ●この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素材を含む）を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- ●つやの調整品は被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また上塗り1回目の塗装は必ずつや有り品を塗装してください。
- ●つや調整品では、塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- ●上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色（近似色）で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- ●弱溶剤型塗料の塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ●このカタログに記載されている下塗塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- ●安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

【商品構成】

品　番	品　名		容　量
081-9020	サンフロンUV	各色	13kg、2.6kg
081-2340		低汚染硬化剤	2kg、0.4kg
081-2320		弾性硬化剤	
081-9051	サンフロンアクア	各色（上塗り）	15kg、3kg
081-9055		中塗り	

※上塗りの艶は、つやあり～3分つやまで調整できます。
サンフロンアクア中塗りは淡彩色～中彩色まで調色できます。

【関連下塗り塗料（下地調整材・シーラー）】

品　番	品　名		容　量
032-2001	ロックSBフィラー		15kg
032-2106	ビニロックエラスティックフィラーⅢ		16kg
033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト		15kg
033-1179	ロックカチオンシーラーマルチⅢ（透明）		
033-5110	ユメロックシーラー	ホワイト 主剤	12.5kg
033-5150		主剤	
033-5910		硬化剤	2.5kg
033-6110	ハイパーシーラーエポ	ホワイト 主剤	12.5kg
033-6150		主剤	
033-6910		硬化剤	2.5kg
033-8150	エポシーラーマルチ（透明）		14kg

【関連下塗り塗料（さび止め塗料）】

品　番	品　名		容　量
061-1540	サビカットⅡ	赤サビ色	16kg、4kg
061-1541		グレー	
061-1542		ホワイト	
061-1544		ブラック	16kg
061-3530	サビカットプラス	赤サビ色	16kg
061-3531		グレー	
061-3532		ホワイト	
061-5530	水性サビカット	赤サビ色	14kg
061-5531		グレー	
061-5910		硬化剤	2kg
061-7530	2液型サビカット	赤サビ色	14.4kg
061-7531		グレー	
061-7532		ホワイト	
061-7534		ブラック	
061-7910		硬化剤	1.6kg
061-0530	ロックエポキシハイプライマー	赤サビ色	15kg
061-0531		グレー	
061-0532		ホワイト	
061-0011		硬化剤	3kg
061-0021		低温用硬化剤	